

千葉県議会議員

小宮清子のさわやかメール

小宮清子県議会報告版

事務所 流山市平和台2-4-3 広葉ビル201 TEL・FAX04-7159-3781
E-mail hikomiya538@coral.plala.or.jp URL komiyakiyoko.blog46.fc2.com

No.55



3月16日 2月県議会において予算に対する反対討論を行なう

2012年度一般会計1兆6000億円に 県民の生命・くらしを 守る展望見えず

閉そく感強まる県政

1兆6000億円の2012年度予算が成立しました。原発事故による放射能対策、人口減少に転じた事、急速に進む少

子高齢化等、県がこの先長期にわたり取り組まなければならぬ県政諸課題への対策はきわめて貧しく、生命とくらしを守

2012年度予算の問題点を見る

財政運営は火の車

県民一人当たり46万7000円の借金背負う
予算の財源不足288億円を補うため県の預金ともいうべき財政調整基金のとりくずし60億円(残は20億円)、災害復興・地域再生基金のとりくずし72億円(残は42億円)、さらに退職手当債154億円を発行して、予算編成をきりぬけています。

無料法律相談
一人で悩まずご相談下さい
毎月第4土曜日 午後2時～4時
平和台2-4-3 社民党事務所
(できましたら事前にご連絡下さい)
相談日以外でも弁護士への相談を受け付けます。

法律相談 法律を必要とするどのような問題にでも直接弁護士が相談に応じます

市民相談 福祉、教育、環境、地域の諸問題など

問合せ先 04-7159-3781 (社民党事務所)
090-8431-8107 (小宮携帯)

以上が過ぎ、原発の安全神話もくずれ、現地福島の人々はふるさと、雇用、家族との生活を失い再建の道筋も見えてきません。今日の状況をとらえる時、放射能ホットスポットとなった千葉県においても、放射能のつけは重く長く、人間がつくりながらコントロールできなからコントロールできず、閉そく感が強まるばかりです。と、目的をもった他の基金の安易なとりくずし(この一年で廃止されとりくずされた基金として、みどりの基金、庁舎等建設基金等があります)による財政運営はまさに自転車操業です。財政運営の長期的見通しを立てることなく場当たり運営が続いています。

ない原発のおそろしさを痛感します。今、新エネルギーの推進へ多くの自治体が力を傾けています。しかし千葉県の新エネルギー推進への県としてのビジョンはありません。放射能対策も国まかせで、新たな政策課題への戦略もなく、閉そく感が強まるばかりです。